

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	平安女学院大学
設置者名	学校法人 平安女学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計		
国際観光学部	国際観光学科	夜・通信		—	23	23	13	
子ども教育学部	子ども教育学科	夜・通信		—	30	30	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

大学HPに掲載している https://www.heian.ac.jp/about/disclosure/academic-support.html
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	平安女学院大学
設置者名	学校法人平安女学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

法人本部HPにて公開している。
法人本部 <http://head.heian.ac.jp/about/organization.html>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	主教	～2025年 3月31日	キリスト教関係担 当理事
非常勤	一般社団法人副理事長	～2025年 3月31日	学生部担当理事
非常勤	学校法人常務理事事務 局長	～2025年 3月31日	管理運営
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	平安女学院大学
設置者名	学校法人平安女学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>													
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>シラバスの作成マニュアルとして「シラバスの作り方」を作成し、全授業担当者に配布している。その中で授業内容、到達目標、成績評価の方法等について記載するように求めている。当該年度のシラバスは、4月上旬の履修登録ガイダンス期間(例年4月4日頃)から公表している。</p>													
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>大学公式サイト上で公開している。</p> <p>以下のURLにアクセス、「シラバスの閲覧について」の欄のリンクをクリックして、ゲストユーザーとして、シラバス検索をすることができる。</p> <p>https://unipa.heian.ac.jp/uprx/up/pk/pky001/Pky00101.xhtml</p>												
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>													
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>シラバスにおいて、成績評価について「一貫した基準であること」「明確かつ公正であること」「学生の学習意欲を促進させるものであること」に留意し、どのような項目を成績評価の対象とするか、全体を100%とするとその割合はいくつか、を記載するよう全教員に求めており、シラバスの様式として、以下の項目を用意している。</p>													
<table border="1"> <tr> <td>期末筆記試験</td> <td>期末試験期間に筆記試験を行う場合、その評価割合を入力。</td> </tr> <tr> <td>期末レポート試験</td> <td>期末試験期間にレポート課題を課す場合、その評価割合を入力。</td> </tr> <tr> <td>平常点(小テスト)</td> <td>授業への参加度、授業中の小テスト・確認テスト・レポート課題提出等を加味する場合、その評価割合を入力し、評価備考欄に詳細(小テスト〇%等)を入力。学生に対する評価について、出席による加点・減点を行わない。</td> </tr> <tr> <td>成果発表</td> <td>授業での発表等を加味する場合、その評価割合を入力。</td> </tr> <tr> <td>作品</td> <td>授業で作成した作品を加味する場合、その評価割合を入力。</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>上記のいずれにも該当しない場合は、この欄にその評価割合を入力し、評価備考欄に詳細を入力。</td> </tr> </table>	期末筆記試験	期末試験期間に筆記試験を行う場合、その評価割合を入力。	期末レポート試験	期末試験期間にレポート課題を課す場合、その評価割合を入力。	平常点(小テスト)	授業への参加度、授業中の小テスト・確認テスト・レポート課題提出等を加味する場合、その評価割合を入力し、評価備考欄に詳細(小テスト〇%等)を入力。学生に対する評価について、出席による加点・減点を行わない。	成果発表	授業での発表等を加味する場合、その評価割合を入力。	作品	授業で作成した作品を加味する場合、その評価割合を入力。	その他	上記のいずれにも該当しない場合は、この欄にその評価割合を入力し、評価備考欄に詳細を入力。	
期末筆記試験	期末試験期間に筆記試験を行う場合、その評価割合を入力。												
期末レポート試験	期末試験期間にレポート課題を課す場合、その評価割合を入力。												
平常点(小テスト)	授業への参加度、授業中の小テスト・確認テスト・レポート課題提出等を加味する場合、その評価割合を入力し、評価備考欄に詳細(小テスト〇%等)を入力。学生に対する評価について、出席による加点・減点を行わない。												
成果発表	授業での発表等を加味する場合、その評価割合を入力。												
作品	授業で作成した作品を加味する場合、その評価割合を入力。												
その他	上記のいずれにも該当しない場合は、この欄にその評価割合を入力し、評価備考欄に詳細を入力。												
<p>授業担当者は、シラバスに記載した評価方法に基づき、厳格かつ適正に単位の授与を行っている。</p>													

3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

学期ごとに、全履修科目の成績評価の平均値を示すG P A (Grade Point Average) を算出する。算出式は次の通りである。

$$G P A = \frac{\text{履修登録科目のグレード・ポイント} \times \text{単位数の総和}}{\text{履修登録した科目の単位数の総和}}$$

グレード・ポイントは当該科目の成績評価により次の表の定めるとおりである。但し、N (認定) はG P Aの評価の対象とはしない。

評点	100～90	89～80	79～70	69～60	59～0	失格
グレード・ポイント	4	3	2	1	0	0

客観的な指標の
算出方法の公表方法

大学公式サイト上で公開している 2024 年度学生便覧の「6. 成績と単位認定」(p39～)にG P Aについて記載している。
<http://www.heian.ac.jp/student/class/requirements/>

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

本学では、大学全体の学位授与の方針 (ディプロマポリシー) と学部ごとのディプロマポリシーをそれぞれ規定している。

【平安女学院大学の学位授与の方針】

建学の精神を体得し、専門分野の学びを通して修得した知識を活かして、地域社会ならびに国際社会に貢献できる資質を備え、所定の課程を修了した学生には卒業が認定され、学位が授与される。

【国際観光学部 学位授与の方針】

1. 本学の建学の精神およびキリスト教の精神に基づく人間性と、豊かな教養を有している。
2. 課題発見、探究能力、実行力を核とするジェネリックスキルを身につけている。
3. ホスピタリティ精神をもって他者と接することができる。
4. 観光の学びを通して、日本・世界の社会や文化の多様性を理解している。
5. 地域社会の課題を理解し、さまざまな地域活動に取り組み、地域に貢献できる能力を身につけている。
6. 国際的な環境の中で、能動的なコミュニケーションをすることができる。

【子ども教育学部 学位授与の方針】

1. 本学の建学の精神およびキリスト教の精神に基づく人間性と、豊かな教養を有している。
2. 子どもの教育や保育に関する幅広い知識および技能を身につけ、それを応用し、実践につなげることができる。
3. 子どもの教育や保育に関わる専門家としての責任感、倫理観を持って、社会に貢献することができる。
4. 子どもを取り巻く様々な課題を多角的にとらえ、必要な情報を収集、分析、整理し、問題解決に向けて創造的に思考することができる。
5. 社会性を身につけ、他者に共感し協働してものごとに取り組むことができる。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

大学ホームページにて公開している。

<http://www.heian.ac.jp/about/educational-policy/policy.html>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	平安女学院大学
設置者名	学校法人平安女学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	学校法人平安女学院ホームページ 財務情報 令和5年度>貸借対照表 http://head.heian.ac.jp/about/finance.html
収支計算書又は損益計算書	学校法人平安女学院ホームページ 財務情報 令和5年度>収支計算書 http://head.heian.ac.jp/about/finance.html
財産目録	学校法人平安女学院ホームページ 財務情報 令和5年度>財産目録 http://head.heian.ac.jp/about/finance.html
事業報告書	学校法人平安女学院ホームページ 財務情報 令和5年度>事業報告書 http://head.heian.ac.jp/about/finance.html
監事による監査報告(書)	学校法人平安女学院ホームページ 財務情報 令和5年度>監事の監査報告書 http://head.heian.ac.jp/about/finance.html

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: 大学HPの情報公開ページ、自己点検・評価報告欄にて掲載している。 https://www.heian.ac.jp/about/disclosure/self-assessment.html

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 国際観光学部
教育研究上の目的（公表方法：大学 HP にて公表している） http://www.heian.ac.jp/learning/international/
（概要）国際観光学に関する専門的知識を涵養するとともに、異文化を理解しホスピタリティ精神に富む人間性豊かな人材の育成を目的とする。
卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：大学 HP にて公表している） https://www.heian.ac.jp/about/educational-policy/policy.html
（概要）大学全体としての方針は様式第 2 号の 3 にも記載しているとおり。 建学の精神を体得し、専門分野の学びを通して修得した知識を活かして、地域社会ならびに国際社会に貢献できる資質を備え、所定の課程を修了した学生には卒業が認定され、学位が授与される。 それに加えて国際観光学部としての方針が以下の通りである。 【国際観光学部 学位授与の方針】 1. 本学の建学の精神およびキリスト教の精神に基づく人間性と、豊かな教養を有している。 2. 課題発見、探究能力、実行力を核とするジェネリックスキルを身につけている。 3. ホスピタリティ精神をもって他者と接することができる。 4. 観光の学びを通して、日本・世界の社会や文化の多様性を理解している。 5. 地域社会の課題を理解し、さまざまな地域活動に取り組み、地域に貢献できる能力を身につけている。 6. 国際的な環境の中で、能動的なコミュニケーションをすることができる。
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：大学 HP にて公表している。） https://www.heian.ac.jp/about/educational-policy/policy.html
（概要） 1. 「教養科目」においては、「キリスト教学」「ジェネリックスキル」「キャリアデザイン」を必修科目とする。基本的な知識・技能を習得し、社会人として必要となる知識と技能を身につけるために「基礎科目」「教養展開科目」「キャリアデザイン科目」を配置する。 2. 「専門科目」においては、「観光・京都学コース」「ホスピタリティ・ビジネスコース」「外国語特修コース」の 3 つのコースで共通して学ぶべき科目と卒業研究科目を必修科目とする。 3. 各コースで求められる専門的な知識と技能を段階的に身につけるため、専門科目を「専門導入」「専門基礎」「専門展開」の各科目群に配置する。 4. 京都の伝統文化を学ぶ演習科目、京都のおもてなしや歴史・文化を学ぶ科目を配置する。 5. 国際観光学を実践的に学ぶために「実習科目」を配置する。
入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学 HP にて公表している） https://www.heian.ac.jp/about/educational-policy/policy.html
（概要） 1. ジェネリックスキル、ホスピタリティ・マインドを身につけ、観光に関わる専門的知見を通して、社会に貢献しようと積極的に思う人。 2. 国際的な視野から現代社会を捉え、将来海外で活躍したいと考える人。 3. 観光の楽しみ方を学びつつ、人間の文化や社会についての知見を深め、豊かな人生を送ろうと考える人。

学部等名 子ども教育学部
<p>教育研究上の目的（公表方法：大学 HP にて公表している） https://www.heian.ac.jp/learning/elementary/</p>
<p>（概要）子ども学に関する高度な専門的知識と実践力を涵養するとともに、教育・保育の分野に幅広く携わる人間性豊かな人材の育成を目的としています。</p>
<p>卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：大学 HP にて公表している） https://www.heian.ac.jp/about/educational-policy/policy.html</p>
<p>（概要）大学全体としての方針は様式第 2 号の 3 にも記載しているとおり。建学の精神を体得し、専門分野の学びを通して修得した知識を活かして、地域社会ならびに国際社会に貢献できる資質を備え、所定の課程を修了した学生には卒業が認定され、学位が授与される。</p> <p>それに加えて子ども教育学部としての方針が以下の通りである。</p> <p>【子ども教育学部 学位授与の方針】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本学の建学の精神およびキリスト教の精神に基づく人間性と、豊かな教養を有している。 2. 子どもの教育や保育に関する幅広い知識および技能を身につけ、それを応用し、実践につなげることができる。 3. 子どもの教育や保育に関わる専門家としての責任感、倫理観を持って、社会に貢献することができる。 4. 子どもを取り巻く様々な課題を多角的にとらえ、必要な情報を収集、分析、整理し、問題解決に向けて創造的に思考することができる。 5. 社会性を身につけ、他者に共感し協働してものごとに取り組むことができる。
<p>教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：大学 HP にて公表している。） https://www.heian.ac.jp/about/educational-policy/policy.html</p>
<p>（概要）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 豊かな教養を身につけるために「教養科目」を置き、「キリスト教学」、「キリスト教文化」を必修科目としてキリスト教の精神に基づく人間性を涵養するとともに、「伝統文化論（茶道）」を通して日本文化への理解を深められるようにする。 2. 「学部基幹科目」、「専門発展科目」、「子ども教育科目」、「乳幼児保育科目」、「初等中等教育科目」、「英語教育科目」、「発達・教育心理学科目」を体系的に配置し、子どもの教育・保育に関する専門知識、技能を修得できるようにするとともに、少人数での演習を通して応用力を身につける。 3. 「実習科目」を置き、現場での学びを通して必要な技術を身につけ、教育・保育の専門家としての責任感、倫理観を育成できるようにする。 4. 自ら課題を設定し、調査研究や討議を行う演習科目を段階的に設置し、創造的思考力を高めることによって課題解決力を育て、自らの研究テーマに関する卒業研究を通して、自らの課題を深めることで、生涯にわたって学び続ける力をつける。 5. 行政と連携したインターンシップ科目を通して、地域におけるボランティア等の体験的な学びを充実させ、組織的、計画的に活動することで社会性や他者との協働性を身につけ、社会に貢献できる学生を育てられるようにする。
<p>入学者の受入れに関する方針（公表方法：大学 HP にて公表している） https://www.heian.ac.jp/about/educational-policy/policy.html</p>
<p>（概要）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもと関わるのが好きで、子どもの成長や発達、発達支援、子どもの教育に強い関心がある人。

2. 子どもの多様な経験に理解を示し、家庭や地域の子育て支援に強い関心がある人。
知識や技能を習得し、開かれた社会性と向上心を持って何ごとにも意欲的に取り組むことができる人。
3. 保育・児童福祉・学校教育の現場で専門職として社会に貢献する意欲が強い人。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：大学HPにて公表している。

<https://www.heian.ac.jp/about/organization/univ.html>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	2人	—					2人
国際観光学部	—	8人	2人	1人	4人	0人	15人
子ども教育学部	—	8人	5人	1人	5人	0人	19人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		53人					53人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法：HPにて公表している 国際観光… https://www.heian.ac.jp/learning/international/teacher.html 子ども教育… https://www.heian.ac.jp/learning/elementary/teacher.html					
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
国際観光	80人	78人	97.5%	410人	278人	67.8%	—人	14人
子ども教育	80人	35人	43.8%	300人	200人	66.7%	—人	0人
合計	160人	113人	70.6%	710人	478人	67.3%	—人	14人
(備考)								

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
国際観光	132人 (100%)	0人 (0%)	124人 (93.9%)	8人 (6.1%)
子ども教育	51人 (100%)	0人 (0%)	49人 (96.1%)	2人 (3.9%)
合計	183人 (100%)	0人 (0%)	173人 (94.5%)	10人 (5.5%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) シラバスの作成マニュアルとして「シラバスの作り方」を作成し、全授業担当者に配布している。その中で授業内容、到達目標、成績評価の方法等について記載するように求めている。当該年度のシラバスは、4月上旬の履修登録ガイダンス期間（例年4月4日頃）から公表している。

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 学期ごとに、全履修科目の成績評価の平均値を示すGPA（Grade Point Average）を算出する。算出式は次の通りである。

$$GPA = \frac{\text{履修登録科目のグレード・ポイント} \times \text{単位数の総和}}{\text{履修登録した科目の単位数の総和}}$$

グレード・ポイントは当該科目の成績評価により次の表の定めるとおりである。但し、N（認定）はGPAの評価の対象とはしない。

評点	100～90	89～80	79～70	69～60	59～0	失格
グレード・ポイント	4	3	2	1	0	0
学部名	学科名	卒業又は修了に必要な となる単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)		履修単位の登録上限 (任意記載事項)	
国際観光	国際観光	128 単位	有・無		単位	
子ども教育	子ども教育	128 単位	有・無		単位	
GPAの活用状況（任意記載事項）		公表方法：				
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：				

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：大学HPにおいて、両キャンパスの紹介ページを設けて、キャンパスマップや施設についても掲載している。

京都キャンパス…<https://www.heian.ac.jp/about/facility/kyoto.html>

高槻キャンパス…<https://www.heian.ac.jp/about/facility/takatsuki.html>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

国際観光	国際観光	1年	980,000円	250,000円	170,000円	
		2～4年	980,000円	-	280,000円	
子ども教育	子ども教育	1年	980,000円	250,000円	170,000円	
		2～4年	980,000円	-	280,000円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組	
(概要)	
<p>■クラス担任制度</p> <p>本学では教員によるクラス担任制を導入し、学生生活全般にわたって学習指導や学生相談にあたっており、各学期当初にはクラス担任による個人面談を行っている。欠席数の多い学生に対しては、クラス担任が面談等による個別指導を実施しており、きめの細かい対応を心掛けている。また、オフィスアワーの時間も活用して、学生の個別相談に応じている。</p>	
<p>■ラーニングサポートセンター</p> <p>両キャンパスにラーニングサポートセンターを設置し、教員もしくはチューターの学生が担当となって、授業でわからなかったことや、実習相談会を開き、実習ノートの書き方の相談などを行っている。</p>	
b. 進路選択に係る支援に関する取組	
(概要)	
<p>■キャリアサポートセンター</p> <p>就職活動に必要なことが段階的に身に付くようプログラムした「就職ガイダンス・講座」をはじめ、「個別相談・面談」「学内企業セミナー」「資格検定支援講座と団体受験」「筆記試験対策講座」などを実施し、学生により多くの「気づき」の機会を提供している。また、教職員が連携しながら、一人ひとりの「社会で通用する強み」を育成・支援している。</p>	
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組	
(概要)	
<p>■保健室</p> <p>両キャンパスともに、看護師を配置し、日々の学生の疾病や怪我の対応を行うほか、学生集団健診や実習に伴う検査を実施し、その後のフォローも行っている。</p>	
<p>■学生相談室</p> <p>女性のカウンセラーを配置し、学生が相談しやすいようにしている。また京都キャンパスのみだが、月1回精神科医が相談を行い、学生の心理的問題の支援を行っている。</p>	

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

<p>公表方法： 平安女学院大学 HP にて公開している。 https://www.heian.ac.jp/about/disclosure/publication.html</p>

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード (13桁)	F126310107476
学校名 (〇〇大学 等)	平安女学院大学
設置者名 (学校法人〇〇学園 等)	学校法人平安女学院

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		92人	90人	98人
内訳	第Ⅰ区分	60人	57人	
	第Ⅱ区分	23人	23人	
	第Ⅲ区分	-	-	
	第Ⅳ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				98人
(備考)				

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号、第4号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	人	人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の5割以下)	一人	人	人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	一人	人	人
「警告」の区分に連続して該当	一人	人	人
計	一人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	人	後半期	人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の6割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の6割以下)	0人	人	人
GPA等が下位4分の1	25人	人	人
出席率が8割以下その他学修意欲が低い状況	0人	人	人
計	25人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。